

陸用ディーゼルエンジンピストン評価法

(2014年4月7日追補)

この追補は、2005年2月10日に改訂された“陸用ディーゼルエンジンピストン評価法”2005年版の追補である。

したがって、今後、JPI-5S-15-2005とは、この追補を含むものとする。

なお、この追補は該当箇所のみを示す。2014年4月7日の追補は次の1箇所である。

追補 1

日野自動車製 N04C エンジンのピストン評価例を追加する。

追補-2014 の解説

追補 1 について

自動車用ディーゼル機関潤滑油 清浄性試験方法 (JASO M336) が 2014年3月13日に改正され、試験エンジンが日産ディーゼル工業株式会社 (現: UD トラックス株式会社) 製 TD25 エンジンから日野自動車株式会社製 N04C エンジンへ変更になった。そのため、ピストン評価の参考になるように、N04C エンジンのピストン評価例を追加した。

陸用ディーゼルエンジンピストン評価法審議会
構 成 表

製品部会	委員 11 名 (所属、氏名略)
(部会長)	山 本 順 三 出光興産株式会社
潤滑油分科会	委員 6 名 (所属、氏名略)
(委員長)	竹 島 茂 樹 JX 日鉱日石エネルギー株式会社
エンジン試験専門委員会	委員 9 名
(主査)	佐 藤 考 JX 日鉱日石エネルギー株式会社
	佐 藤 勝 正 出光ルブテクノ株式会社
	金 内 雅 也 シェブロンジャパン株式会社
	武 田 秀 幸 一般財団法人日本自動車研究所
	山 崎 隆 宏 一般社団法人潤滑油協会
	本 多 高 士 東燃ゼネラル石油株式会社
	青 木 隆 二 コスモ石油ルブリカンツ株式会社
	平 尾 修 二 日本ルーブリゾール株式会社
	池 田 直 昭和シェル石油株式会社
(事務局)	青 山 竜 公益社団法人石油学会

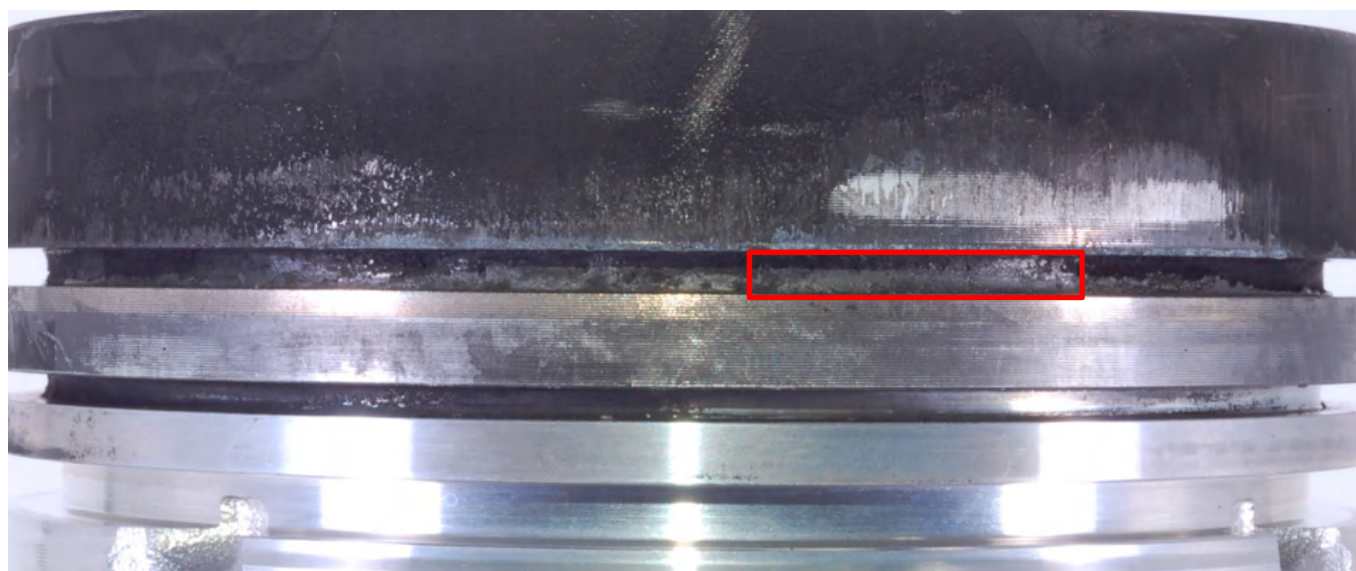
N04C ピストン評価例

カーボンに少しでも光沢がある場合はHCとして評価する。

第1リンググループ評価例①

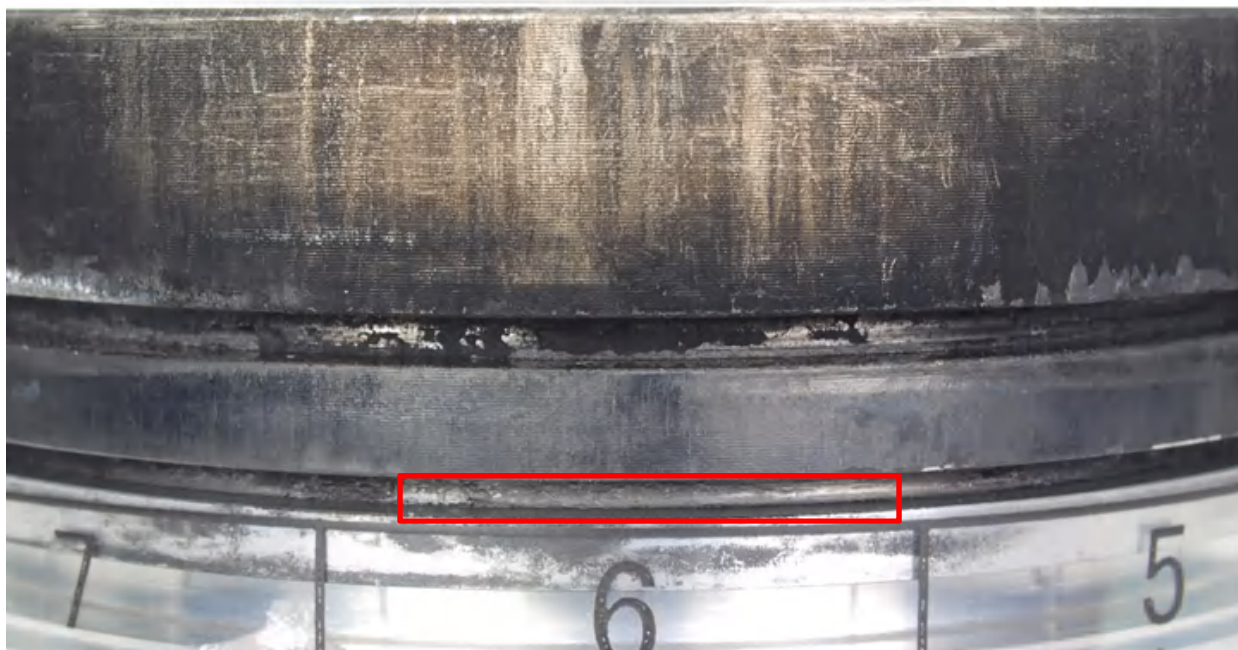


第1リンググループ評価例②

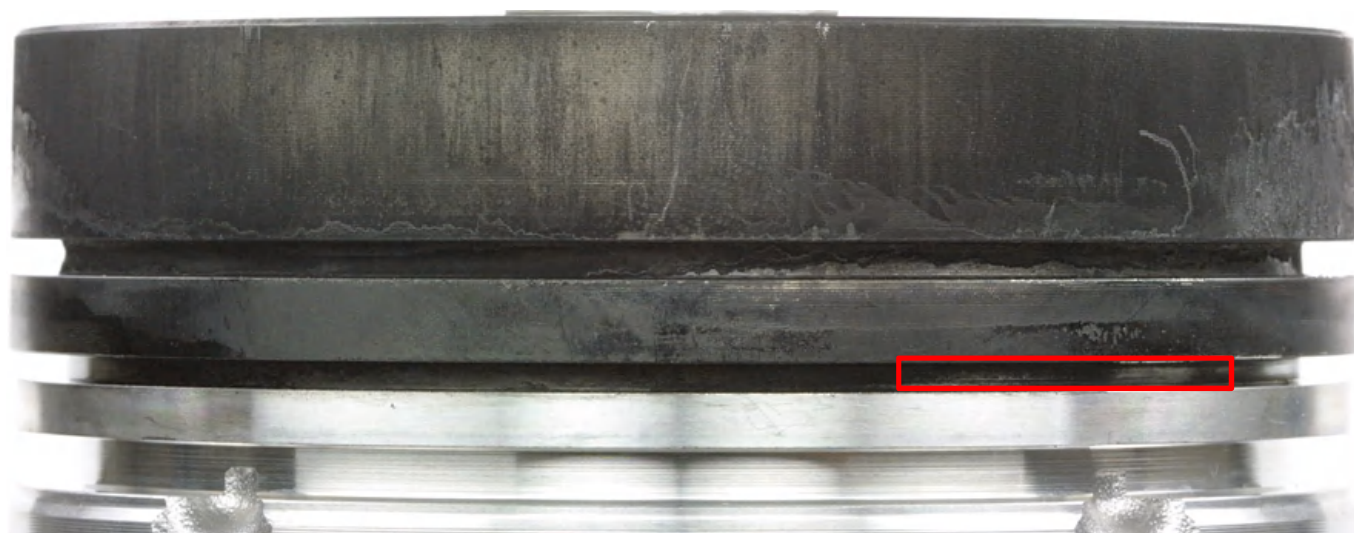


N04C ピストン評価例

第2リンググループ評価例①



第2リンググループ評価例②

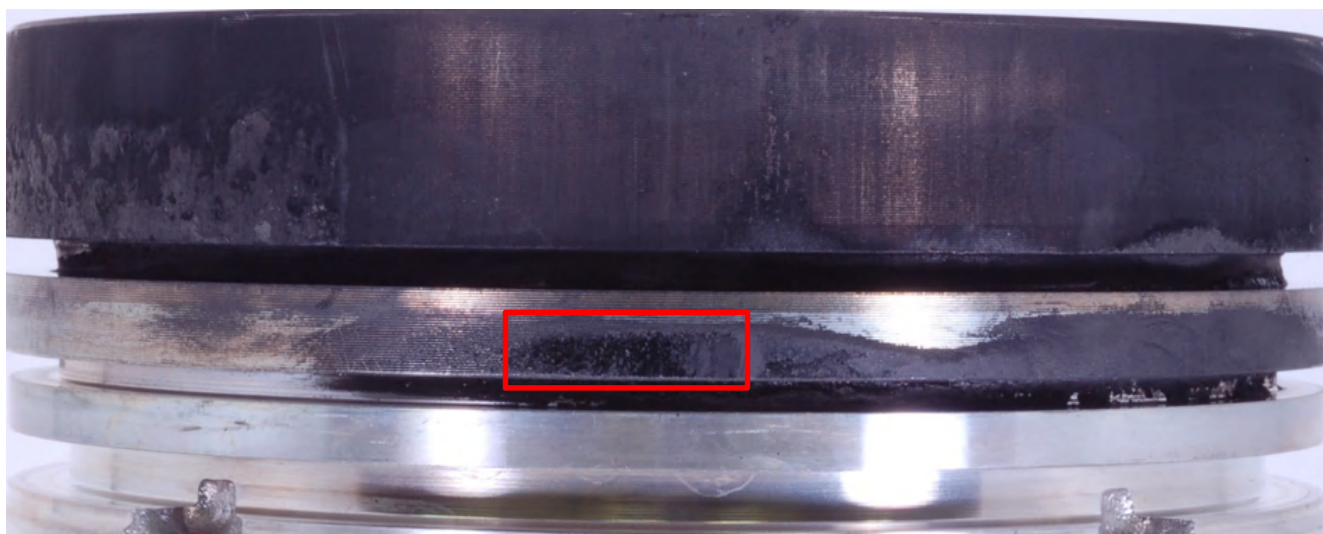


N04C ピストン評価例

第2ランド評価例①

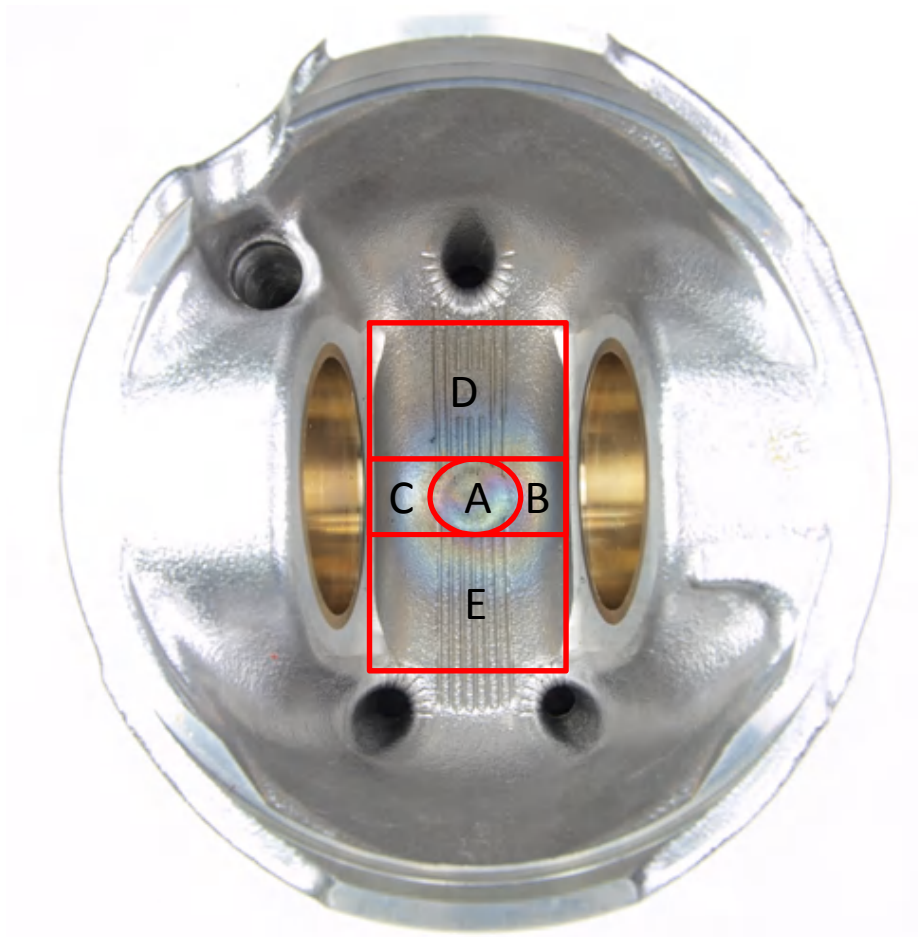


第2ランド評価例②



N04C ピストン評価例

ピストンアンダーサイドは以下の面積区分を参考にして評価する



位置	面積割合
A	4%
B	6%
C	6%
D	42%
E	42%